Youtube data api

コードサンプル

<https://developers.google.com/youtube/v3/code_samples/python?hl=ja>

**作業を始める前に**

1. Google Cloud Console へのアクセス、API キーのリクエスト、アプリケーションの登録を行うために [Google アカウント](https://www.google.com/accounts/NewAccount?hl=ja)が必要です。
2. API リクエストを送信できるようにするため、Google に[アプリケーションを登録します](https://developers.google.com/youtube/registering_an_application?hl=ja)。
3. アプリケーションを登録したら、アプリケーションが使用するサービスの 1 つとして YouTube Data API を選択します。
   1. [Cloud Console](https://code.google.com/apis/console/?hl=ja)に移動し、登録したプロジェクトを選択します。
   2. [**Services**] ペインをクリックします。
   3. API のリストから **YouTube Data API** を探し、ステータスを ON にします。
4. JSON（JavaScript Object Notation）データ形式のコア コンセプトについて理解しておきます。JSON は言語に依存しない一般的なデータ形式で、任意のデータ構造をシンプルなテキストで表現します。詳細については、[json.org](http://json.org/) をご覧ください。

https://s51517765.hatenadiary.jp/entry/2019/03/29/073000

モジュールのインストール

pip install --upgrade google-api-python-client oauth2client  
pip install --upgrade google-api-python-client

from apiclient.discovery import build

または

from googleapiclient.discovery import build

api serch機能

https://developers.google.com/youtube/v3/docs/search/list?hl=j

カテゴリー[りすと](https://so-zou.jp/web-app/tech/web-api/google/youtube/category.htm)

そして API を何回か実行した後、 Google開発画面の "Quotas" を改めて確認。すると Quotas が消費されていることが確認できます。

プログラム的には Kotlin も Dart も Java も一度に YouTube API でクロールすることは可能ですが、上記 Quotas の通り、各月のデータ抽出をすると一気に Quotas が消費されます。そのため Quotas リミットになると、APIを実行できませんので、改めて新規プロジェクトを作成し、API キーを作成する必要が出てきます。

ちなみに APIの Quotas が上限に達したら以下の様な 403エラーが表示されます。

参照：<https://blog.codecamp.jp/programming-api-youtube>